

# AED 企画書

タイトル	子供も大人も安心・安全に過ごせる街～柏市～
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・更なる AED の普及を図る。</li> <li>・AED を身近なものに感じてもらう。</li> <li>・自分達の近くにある AED の場所を知ってもらう。</li> <li>・AED によって助かる命を増やし、死亡率を下げる。</li> </ul>



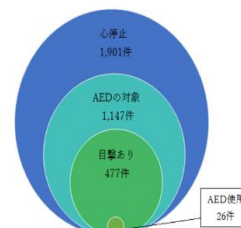
## ≪現状≫

もし、あなたの目の前で突然誰かが倒れたらどうしますか？  
もしかしたら家族・友人かもしれません。



心停止が確認出来た時は AED の使用が大事です！

柏市では、平成 27 年から令和元年までの 5 年間で心停止の合計 1,901 件の内、市民によって AED が使用されたのは、わずか 26 件 (1.3 パーセント) です。



(補足) AEDの対象とは、心臓病等が原因で心臓が停止した人のことです。

具  
体  
的  
な  
内  
容

目の前で誰かが倒れるところを市民の人が目撃した心停止の合計 477 件のうち 5.4 パーセント の人にしか AED が届いていません。

救われるべきはずの命が救われず、今後悲しい思いをする方を増やさない為にも、私たちはもっと AED について知る必要性を感じています。

しかし、AED を実際に使用する事を躊躇う方も多くいます。

その理由として

- ①やり方 (使用方法) がわからないから
- ②やり方はわかるが自信がない
- ③AED を使用するべきか判断が出来ない
- ④AED を使う事、使った事に対して責任を取られたくないから
- ⑤人工呼吸に抵抗がある
- ⑥AED がどこにあるか勝手に使っていないのかわからないから



等の理由が挙げられます。

## ①やり方（使用方法）がわからないから。

子供に携わる教師の方は AED 講習等で使用方法を教えて頂く機会があるかと思いますが、しかし、一般の方は自ら講習を受けに行かない限り AED の使用方法を学ぶ機会がありません。又、そもそも論として、AED の講習を受けられる機会が不足しており、講習があったとしても、告知不足、認知不足で一般の市民の方の受講が殆どない状況です。又職業的に定期的に講習を受けている方でも、講習の期間の感覚が長い事により手順を忘れてしまったり、自信を持ってなくなっているのが現状です。

《当社の施策》

・ AED の使い方等を指導。

子供の命を守れるのは、親や大人の方です。目の前で倒れた人を助けられるのは地域の皆さんです。教師・親・子供も含め学期に 1 度校舎で AED 講習をやる事で手順を覚えて頂き、自信に繋がっていきます。又、地域の近隣センターでも最低でも月に一度、AED の講習を行います。頻繁に講習をする事で技術・経験・意識をつける事ができ、いざとなった時、経験あれば慌てず落ち着いた手つきで皆さんの命を救う事が出来ます。

又救命に対する意識が高まる事により、救急隊への理解が広がり、救急搬送への協力（救急車のスムーズな通行等）、無駄な救急車の出動要請も減っていき、救急隊の皆様の無意味な負担減にも繋がり、救命される人が増えてくると考えます

・当社のホームページ、SNS（Twitter・Facebook・Instagram）、YouTube を使用して、救命の知識、必要性の告知等を頻繁に行い、様々な年齢層の方に AED の使用方法・知識、その他の救命知識等を広めていきます。

\* 沢山の方に見て頂けるように、目に留まる内容にする事。

\* 見て頂けた人が分かりやすかった！と思う内容にする事。

\* 誰かに伝えたい、知ってもらいたいと思わせる内容、試みを意識する

（例）拡散してくれた人限定 防災イベント内で使用できるクーポン券をプレゼント 等を重視していきます。

・当社に協力して頂いている店舗への告知。

当社に協力して頂いている店舗は約 300 店舗あります。

協力して頂いている店舗は全て LINE グループに統括されております。そのグループの中で、AED の使用方法・知識の動画を送付する事で、少しでも多くの方が AED を身近に感じて頂けるように取り組みます。

職種毎の防災週間を設け、防災の意識付け、知識の伝達を行い、お客様を守る為に必要だと考えてもらう場を設けます。



・当社が計画しているイベントでの定期的な講習。

2月に行うイベントは3000人規模のイベントです。イベントでは、親子や地域の方を呼ぶことになっており、大きなイベントを年に6回ほどは開催する予定です。定期的にイベントを行う事で防災に対するイメージが身近なものになり、他人事から自分の事、自分にとって大切な人の為と思える環境になると考えます。その為、イベントに来られるお客様にも AEDの重要性、災害に備える重要性を伝えるワークショップを行う予定です。

大きなイベントだけでなく、地域の住人が集まりやすい各地域の近隣センターでAED講習を月に1度行う事を検討しています。防災には地域の連携が非常に重要です。その意識の植え付け、いざという時の予行演習としての場、として、各地域の近隣センターで行う、定期的な防災イベントを最重要と考え、取り組んでいきます。これに伴い各近隣センターには、当社からAEDの寄付を考えています。地域の方も自分の街を守る為、自分自身、自分の大切な人を守る為と真剣に考えられるようにするため、身近な場所で定期的にイベントを行う、その為に近隣センターでのイベント実行を優先課題と考えています。

### ②やり方はわかるが、自信がない。

AEDの使い方は非常にシンプルです。AEDの電源をONにするだけで、音声ガイダンスが開始するのであとはガイダンスに従うだけです。

《当社の施策》

SNS等を見て、やり方は理解できても実際に使用する事はとても勇気がある事です。その勇気を持つためにも積極的にイベントに参加して頂き体験して頂けるように検討していきます。



更にAEDを設置している箇所に当社が作成した使用方法の冊子を置く事・当社が作成した使用方法が動画で視聴出来るQRコードを貼っていきます。

そうする事により、AEDの音声ガイダンスのみだけでは不安な方も、冊子や動画を見ながらAEDを使用する事が出来ます。

### ③AEDを使用するべきか判断が出来ない。

倒れた方がペースメーカーを装着している・妊婦・子供かもしれません。

- ・使用しなくて良いのにAEDを使用した場合はどうになってしまうのか
- ・使用しなければいけない時に使用が出来ないとどうになってしまうのか



一瞬の気の迷いがある方の命に関わってしまいます。しかし、AEDを使用するかしないかの判断が難しい事もありますよね。

《当社の施策》

## 第一に考える事は、その方の命です。

AED を使用するときは、倒れた方の意識がなく呼吸の確認ができないときです。

怪我や病気といったどんな原因であっても、意識がなく、呼吸の確認ができないときは、処置を開始しましょう。

- ・ペースメーカーの装着が判断できた際は、機械から離して AED のパットを貼ることでペースメーカーの故障のリスクは大幅に軽減されます。
- ・妊婦の場合でも AED は使用可能です。母体の心肺停止状態が続けば胎児への酸素供給も滞っていると考えられます。AED を使用する事で母子双方の命を救うことに繋がります。
- ・子供にも AED を使用する事は可能です。子供の場合も突然、心臓が止まってしまうことがあります。

運動中に胸部に強い衝撃が加わったことにより心臓が停止してしまう時。

水遊びやプールで溺れた時。

紐などが首に絡まって窒息した時 等



万が一、AED を使用しなければならない場面に遭遇した時に、自信を持って使用してもらう為、上記の知識を伝えられる講習を定期的に行っていきます。又当社の SNS での告知、当社の協賛店様方の協力を得て、少しでも多くの方に知ってもらう努力をします

### ④責任を取られたくないから。

倒れてしまった人を助けたい・・・でも、曖昧な知識で救助を行った結果助けられなかったらどうしよう。と思う方もいると思います。

《当社の施策》

例え AED の手順や操作を間違えてしまっても、救命目的であれば法律で守られています。倒れてしまった人をいち早く助けようとする行動はとても素晴らしい事・真似すべき意識です。

「私には関係ない」、「AED について考えた事があまりない」という方にも AED を身近に感じて頂けるように当社のイベント・SNS での発信等を積極的に取り組みます。

### ⑤人工呼吸に抵抗がある。

男性が女性を助ける場合や、逆の立場の際も多少の抵抗はありますよね。  
更に人工呼吸はある程度の訓練が必要で、スキルを持ち合わせていないと効果的  
な人工呼吸を行う事は難しいです。  
また、知らない人に口をつけるということが抵抗となり、結果心肺蘇生自体が  
実施されなくなるという恐れもありました。



#### ≪当社の施策≫ 人工呼吸用マウスピースの設置

男性が女性に人工呼吸をする事や、その反対も少なからず抵抗はあると思  
います。

人口呼吸が抵抗ある方でも、マウスピースがあります。そのマウスピース  
があれば、直接触れ合う事なく人工呼吸をする事ができます。ただ、マウ  
スピースを携行している人は皆無です。ですのでAEDの設置場所に人工呼  
吸用のマウスピースの設置も推進していきます



可能であれば人工呼吸をした方が効果的ですが、人工呼吸に抵抗があれば胸骨圧迫と AED のみ  
で問題ありません。

人工呼吸に抵抗があれば胸骨圧迫と AED のみでいいという事をどのくらいの方が知っているで  
しょうか。

人工呼吸が無くても良いと認識してくれる方が増えれば、更に助けられる命が増えると期待して  
います。その為に、当社のイベントや SNS での発信等を積極的に取り組みます。

### どんな時でも落ち着いて正確に AED 使用する事が大切です。

私達を始め皆さんが AED の知識があれば、今よりも助けられる命を増やすことができるのでは  
ないでしょうか。

以前、このようなニュースがありました。

千葉県出身の井出敬大選手という方がいます。

2016年3月、当時柏 U-15(15歳以下)に所属しており、柏市内のグ  
ラウンドで試合をしていたところ、突然意識を失ってしまいまし  
た。

数分後に意識を取り戻した時には、自分の頭上で AED が作動する声  
が聞こえ、心臓マッサージと人工呼吸をされているのが分かったそ  
うです。



「僕が助けてもらったように、日頃から AED が設置されている場所を確認したり、使い方を学んでおくことが大事ですね。そして、もし、人が倒れる場面に遭遇したら、その人の名前を大声で呼んであげてください。僕自身も最初に音や声が聞こえて、意識が戻りました。聴覚は最後まで残ると言われていますし、生きるか死ぬかするとき、誰かの声が聞こえるのは意味があると思います。」とっていました。

井出選手が言っていたように実際に AED が設置されている場所を確認しておくこと・使い方を学んでおくことが大事です。

### ⑥場所がわからないから。

柏市にはどのくらいの数の AED が設置されているかご存じでしょうか。

柏市の AED 設置場所及び設置数はおよそ 350 か所です。

- ・コンビニエンスストア
- ・学校
- ・公共施設
- ・商業施設
- ・交通機関など

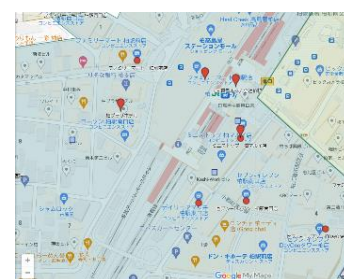


350 箇所もある！と思いますが、柏市全体で見ると、まだまだ設置数が少ない事が現状です。これについては先述の通り、柏市内にある、各地域の近隣センターへの AED の寄付を進め、柏市内で人が集まる商業施設や、従業員数が多い工場や事業所への AED の設置推進を勧めていきます

350 箇所あると言われている AED の数ですが、実際に見かけた事がある方・設置場所を把握している方はどのくらいいるのでしょうか。

近場のコンビニや施設に設置されていたとしても、目に留まっていなかったり、気にしない事も多いかと思います。

結果、AED がどこにあるのかはっきりと把握していない人がほとんどです。



(柏駅周辺の AED 設置場所。)

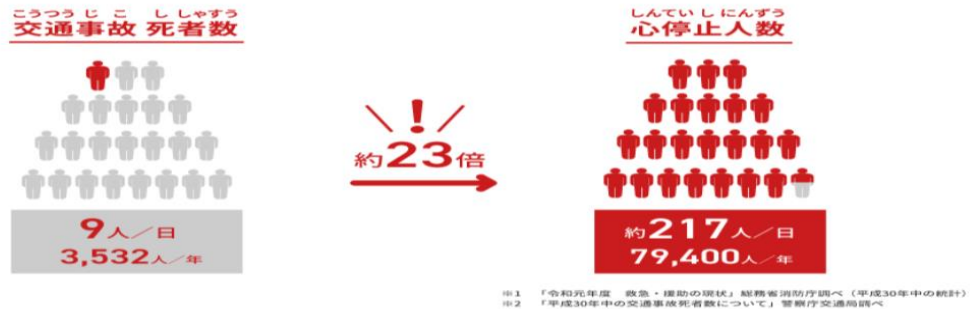
設置場所が把握できていない方・実際に使用する事が出来ない方が増えてしまう事で、救急車が来るまでに亡くなってしまった小学生の事例もありました。

柏市では、柏市の HP で AED がどこに設置されてるか分かるように MA P を作成して掲載しています。しかし、その事を知っている柏市民は多くない為価値用されていない現状にあります。

これを少しでも多くの人に知ってもらえるよう様々な取り組みを行います

### 《当社の施策》 AEDの普及

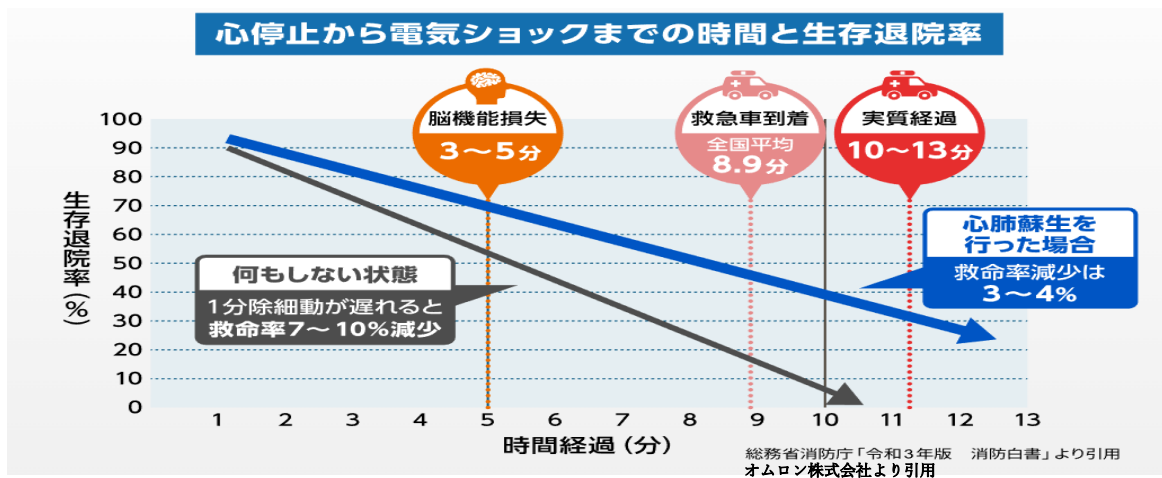
突然の心停止は交通事故死より多く、日本でも、1日約210人の方が突然の心停止になっています。



目の前で誰かが倒れてしまい、AEDを使用しなければいけなくなった際、実際に使用出来る方はどのくらいいるのでしょうか。

心停止してから、数秒で意識を失い、数分で脳をはじめとする全身の細胞が死んでしまいます。その為、電気ショックが1分遅れるごとに救命率は10%ずつ低下します。

しかし、救急車が来るのは全国平均で7~8分です。8分も何もせずに待っていたら助かる確率は極端に下がります。



私達は、救急車が来るまでの約8分間で倒れている人の為に最大限出来る事をしなくてはなりません。

倒れてしまった人を助ける為には、心停止から5分以内の電気ショックが求められます。

- ・心停止発生から119番通報まで約2分かかること
- ・AED到着から電気ショックまで1分ほどかかる可能性があること

その為、残りの2分以内にAEDを持ってくる必要があります。そこで重要になるのは適正な配置と、多数のAEDの設置です。

AED の適正配置は現場から片道 1 分以内です。片道 1 分、往復 2 分以内で戻ってこられる距離が目安となります。

皆さんの身の回りに 1 分以内にとりに行ける AED の数はどのくらいあるでしょうか。

近場にコンビニや企業が無ければ、1 分を取りに行き 2 分以内に帰ってくることは極めて厳しいと思います。それを考えると、現在柏市に設置されている AED の数が不足している事に気づくはずです。



多くの命を救うことが期待される AED ですが、すぐに取りに行ける距離になれば、命を救う事が出来なくなります。

今後の課題として AED を 1 分以内に取りに行くことができ、5 分以内の電気ショックをすると  
思うと、現在の AED 設置数では全く足りません。

今後 AED の設置場所を増やしていかなければなりませんので、AED の普及活動に邁進致します  
また企業に関しては、資金的に厳しい（高額の為）などのご意見もあります。ネットで見ると安いと月に 3000 円といった安価なものもあります。

子供や高齢者が集まる施設であって、AED の必要性が高い施設でありながら金額面で設置が難しいという企業・事業所に関しては、当社が仲介役となり資金の負担を当社が行います。金額的負担を減らすことで、企業・事業所に AED 設置数を増やしていきます。

#### 《当社の施策》 AED の貸出普及

現在の AED 設置を大幅に増やすには当社の力だけでは難しいのが現実です。そこで、現在 AED を設置している柏市内の事業所への協力の要請を行っていきます

柏市の消防局では、緊急時に市民の皆様へ貸出可能な AED を設置している施設（事業所等）を「救急協力事業所」として認定する取り組みを行っています。

救急車が到着するまでに AED を使って、心肺蘇生法と電気ショックを行うことで、救える命を増やし、安心・安全な街づくりに取り組んでいます。



※各ステーションの認定要件がいくつかあります。次に掲げる要件を満たしていることが必要となります。

- 1.AED が常時使える状態で設置してあること。
- 2.営業時間又は公開時間中に、AED を提供できること。
- 3.市の広報紙及びホームページ等で公開することに同意していること。
- 4.普通救命講習以上の講習を修了した者（従業員）が勤務していること。  
（柏 AED サポートステーション・柏あんしんハートステーションを除く）。

AED を貸出する施設は様々あります。



①「救急救命ステーション」とは、AED を設置し、普通救命講習以上の講習を修了した者（従業員等）が勤務し、公共施設や事業所などを「救急救命ステーション」として AED を設置しています。



②「柏 AED サポートステーション」とは、AED を自主設置している民間施設（事業所等）を誰もが使用できる AED の協力事業所として新たに認定します。救命講習の修了者がいなくても AED を設置し、いざという時に AED の貸出にご協力いただいている施設です。



③AED 設置されているコンビニエンスストアには、入口付近に「柏あんしんハートステーション」のステッカーが貼ってあります。AED が必要になったときは、このステッカーの貼ってあるコンビニエンスストアに行き、店員の方に貸出を依頼してください。

この様な素晴らしい活動を行っていましたが、コロナ禍による人員不足により現在停滞している現状にあります。コロナ禍で救急出動が非常に増えているにも拘らず、人員増が叶わず、他の業務に支障がきたしている現状で、消防及び行政に過分の努力を求められない現状です。

少子高齢化が進む日本では既に行政サービスは限界を来たしています。地域の安全、自分や自分の大切な者の命は地域と自分自身でも守る必要があることを認識してもらい、更に行政と {協力} して、安心安全でより良い地域作りに積極的に参加する土壌を作る必要があります。その端緒として AED の貸し出し協力は素晴らしい取り組みですので、引き続き行う必要があると考え、当社では積極的に推進活動を行っていきたいと考えています。

その為に、AED の貸し出しに協力してくれる事業所・施設を募集し、自分達でも探していきます。

AED という市民方の命を守る重要さを伝えながら、併せて防災についても活動を行っていきます。

#### 《当社の施策、その他》 ①消火器の普及

##### ・消火訓練

皆さんは、家に消火器がありますか。

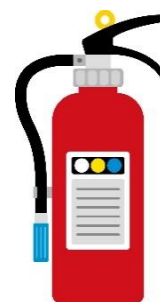
住宅の消火器設置率は約 43.3%となります。

次に、家にある消火器の使用期限を確認していますか。

住宅用消火器の使用期限はおおむね 5 年とされています。

住宅用消火器は薬剤の詰め替えができない構造となるため、使用期限が切れたものは速やかに新しい消火器との交換をお勧めしております。

たとえ使用期限に達していなくても、腐食、キズ、変形などがみられる消火器は速やかに交換をお勧めしております。



しかし、使用期限を過ぎていても交換していないご家庭がとて多くあります。

交換・破棄しない理由として

- ・破棄方法がわからない
- ・置いていても邪魔にならない
- ・まだ使えるかもしれない（勿体ない）
- ・破棄するのに費用がかかる

等の理由が挙げられます。

その為、当社では、地域の方の安心・安全を守る為に、

消火訓練講習を行いながら消火器の回収も同時に行えるイベントを定期的に行う事を検討しております。



使用期限が近いご家庭の消火器をお持ちいただき、その消火器を使用した消火訓練を行います。

その使用期限わずかな消火器を使用し、消火訓練を行って頂いた家庭には、新しい消火器をプレゼント（又は安価にて提供）行います。

《当社の施策、その他》 ②ハザードマップ作成及び普及  
・地球温暖化による自然災害。

最近では、地球温暖化により日本各地で豪雨の被害や、大きな地震を引き起こすこともあります。



3年前、関東各地を大きく襲う台風が2つあった事を覚えておりますでしょうか。

今から約3年前の2019年9月5日に発生した台風15号は、観測史上強力クラスの勢力で千葉県を中心に甚大な被害が出ました。

2019年10月4日に発生した台風19号は昭和54年台風20号以来、40年ぶりに死者100人越えの台風でした。

この台風で最も多く発生した被害は家屋の破損です。台風15号による住宅被害（関東）の件数は、全壊910棟、半壊4751棟、一部破損87251棟でした。

皆さんはこの被害数を見て自分は大丈夫だと思いますか。

たった1回の台風で沢山の被害が出ており、私達が住む千葉県は住宅被害9割強を占めています。毎年やってくる台風は瞬時にして多くの人の命や家屋を奪っていきます。



家の中にはいる人を守る為に、非常に過酷な環境にさらされ続けている為に、皆さんが考えている以上に劣化が進んでいる可能性があります。

住宅の劣化を放置したまま台風が直撃した場合、その劣化から一気に被害が拡大する恐れがあります。こういった被害を防ぐためには定期的なメンテナンスと点検が非常に大切です。

住宅被害が起きないようにする為に、当社は地域貢献の一環として完全無料で屋根の修繕・点検を行いたいと思います。

更に、自然災害が起きた際に自分自身が避難する場所を認識できていますでしょうか。

近隣センターや近くの学校 等 場所は様々です。

避難場所がわかっているけど、その避難場所に行く道は安全でしょうか。

その安全を確認するイベントも計画します。

自分の家から避難場所までの

- ・ハザードマップ作り
- ・非常食を食べる体験
- ・非常時に使える便利グッズ作成 等のイベントを行います。



そうすることにより、地域の皆さんで防災への意識・技術を高める事ができます。

当社はイベント活動を通じて、柏市は、安心・安全に住める街だと思って頂けるように目指します。

